

「川上小学校の川上踊傳承の取組」

1 学校名

いちき串木野市立川上小学校

2 学年・人数 1年生以上の希望者（5名）、地域保存会

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年8月 川上小学校校庭

(2) 発表の日時・場所

令和4年8月28日（日） 川上小学校校庭

4 傳承・活用に取り組んでいる郷土芸能、傳統行事、傳統工芸品について

(1) 名称

かわかみおどり
川上踊

(2) 由来

今から四百数十年前、五穀豊穰と平和を祈念して創始されたものと伝えられている。

毎年8月26日を踊りの日と定め、踊り続けられてきたが、戦時中から中断していた。その後、昭和39年から復活した。現在では、原則として8月末の日曜日に踊り、川上踊保存会によって毎年行われている。

(3) 構成等

踊り子は太鼓14人、鉦4人からなり、踊り子は下と上に別れ踊りの型が異なっ

ている。踊りの種類は、（①門係②庭入③庭取④後すぎり⑤荒川⑥チャンチャコ

⑦ササラ⑧片セキ⑨高飛⑩コ克蘭⑪横飛⑫コ克蘭の出切⑬四十べ⑭サシ鐘

⑮楽⑯モッコンコンノヌカシ⑰回節⑱入コシ⑲庭崩⑳ツンテン

㉑唄㉒七夕㉓謝礼）の23演目がある。一踊り約40分かかる。

5 保存会や地域との連携の具体

運営にあたっては、川上地域審議会員と神社総代・顧問等が参画する。なおこの保存会には、地域館長、集落公民館長、婦人会長その他の団体の長の参加が求められる。また、川上踊は市の無形民俗文化財に指定されている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

以前は、文化財少年団・PTA及び川上踊保存会が中心となって運営していたが、学校の児童数減少に伴い、現在は、川上コミュニティ協議会が運営をし、小学生は希望者を募って参加をしている。また、学校教育活動としては、高学年の総合的な学習の時間に「ふるさとを伝えよう」のテーマで川上地域の調べ学習を行い故郷の文化に親しむ学習を行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

頭のかさが重かったけど、1年生から続けてきた踊りを、6年生の今年みんなで踊ることができてよかった。【6年生児童】

コロナ禍の中でしたが、練習の成果を発揮して無事川上踊りを踊ることができてよかった。これからも、川上踊を続けていきたい。【5年生児童】

川上踊は昔、「男の踊り」であったが、地域の過疎化が進み「踊り子不足」から女性の踊り子も参加するようになってきた。現在は、この川上地域の伝統芸能を絶やさないため、また川上地域の活性化を図るために、川上コミュニティの環境保全部の「川上踊保存会」の中で活動している。今年も、小学生、中高生、成人が参加してくれた。勇壮華麗に鐘や太鼓を打ち鳴らし踊るこの川上踊が末永く続いていくことを願っている。【保存会から】